

横浜旭中央総合病院・鶴川サナトリウム病院の訓練に参加

災害時訓練

2019年11月30・12月7日(土)



今年、東日本を中心に甚大な被害をもたらした台風19号では、IMSグループの施設の中にも被災をした施設がありました。いつどこで起きてもおかしくないと言われる災害。医療者には冷静かつ体系的な行動が求められます。

IMSグループの病院では、東日本大震災以降、医師・看護師・事務職員など総勢100名以上の病院職員による大規模災害訓練を毎年実施しています。3年生は「災害看護」の授業の一環としてこの訓練に参加しています。

学生たちは主に患者役を担当。事前に講習で学んだ創傷メイクを施したり、模型を装着するなどして各々役に徹します。混乱する現場の状況を肌で感じながら、災害時の看護について学びます。

訓練を終え、学生からは「緊迫した中でも看護師が一番患者に寄り添っていた」「『つらかったね』の一言が胸にひびいた」などの意見が聞かれました。

いざという時、この訓練で得た学びをいかせる看護師になってください。